

令和5年度  
社会福祉法人 宮若市社会福祉協議会  
事業報告

# 令和5年度 事業報告

## 1. 総括

令和5年度、海外においては、10月にイスラエルとハマスの軍事衝突が発生し、これまでに2万人を超える犠牲者が出ている。一方、ウクライナの戦況は膠着化している状況である。全世界的に猛威を振るい、永らく続いた新型コロナウイルスの緊急事態宣言は解除されたものの、地球温暖化の影響か地球規模で異常気象・猛暑・地球沸騰化が発生しており、人類にとって大きな脅威となってきた。

国内においては、自民党5派閥の政治資金パーティーの裏金疑惑が暴露され、大きな政治不信を招いている。また、少子高齢化は急速に進展しており、出生数80万人を割る状況となり、政府においては、抜本的な対策を講じるために「こども家庭庁」を発足し、対策に努めることとしている。一方、国内においても異常気象は頻発しており、列島猛暑、平均気温過去最高、ゲリラ豪雨の発生などが頻発している。さらに、1月1日に発生した能登半島地震は、石川県を中心に大規模な災害が発生しており、未だ避難生活をされている方も多く、一日も早い復旧・復興が望まれている。福岡県内においても、昨年7月の豪雨災害により、久留米市をはじめ、うきは市、朝倉市、広川町、東峰村などで、土砂災害や床上浸水等多大な被害が生じている。各被災地において、災害ボランティアセンターが設置され、本社協においても、ボランティアセンターに職員を派遣し、センター運営に携わるとともに、ボランティアバスの運行を4回行い、募集に応じられたボランティアの方とともに被災地での復旧作業に取り組んできた。

このような中、宮若市社会福祉協議会においては、令和5年度の事業計画に基づき、事業をスタートさせている。新型コロナウイルスは、季節性インフルエンザと同等の5類に移行され、感染状況も落ち着きを取り戻し社会経済活動も正常化に向かい、社会福祉センター年間利用者も令和4年度までは5万人を多く下回っていたものの、令和5年度は5万8千人を超える利用状況となってきた。その他の事業についても、着々とコロナ禍前の状況に戻りつつある。

今後とも、自治会長、民生児童委員各位をはじめ、関係機関、関係団体及びボランティア活動に取り組んでいただいている団体・個人の皆さまと連携しながら、諸事業に取り組んでいくことが重要となっている。

## 2. 法人運営事業の状況

### (1) 理事会・評議員会の開催

日 時	内 容
5月30日	学識理事選考委員会
6月6日	第91回 理事会 ・令和4年度 事業報告について ・令和4年度 決算について ・定時評議員会の開催について
6月21日	第55回 評議員会 ・令和4年度 事業報告について ・令和4年度 決算について ・理事の選任について ・監事の選任について
6月28日	第92回 理事会 ・会長の選任について ・副会長の選定について ・就業規則の一部改正について
8月30日	第93回 理事会 ・評議員の選任候補者の推薦について ・会長職務の執行状況の報告について
9月13日	第9回 評議員選任・解任委員会 ・評議員の選任について
11月17日	第94回 理事会 ・雇用契約職員就業規則の一部改正について ・会長職務の執行状況の報告について
2月14日	第95回 理事会 ・会長職務の執行状況の報告について
3月8日	第96回 理事会 ・令和6年度 事業計画（案）について ・令和6年度 資金収支予算（案）について ・雇用契約職員就業規則の一部改正について ・定時評議員会の開催について
3月25日	第56回 評議員会 ・令和6年度 事業計画（案）について ・令和6年度 資金収支予算（案）について

## (2) 監査

日 時	内 容
5月30日	令和5年度 決算監査
8月17日	令和5年度 第1期監査
11月6日	令和5年度 第2期監査
1月15日	財政援助団体等監査（第1回）宮若市監査委員
1月23日	財政援助団体等監査（第2回）宮若市監査委員
2月5日	令和5年度 第3期監査

## (3) 役員研修会の開催について

日 時	内 容	参加人数
10月23日	令和5年 福岡県社会福祉大会	7名

## (4) 総会・主な会議等への参加

日 時	内 容	出席者
4月18日	宮若市ボランティア連絡協議会 総会	会長
4月19日	宮若手話の会 総会	会長
4月20日	みやわか健康隊 総会	局長
4月26日	民生委員・児童委員協議会 総会	会長
5月8日	宮若市交通安全協議会	局長
5月9日	直鞍地区障がい者等地域自立支援協議会 コアメンバー会議	井上
5月13日	わらびの会 総会	会長
5月20日	宮若市手をつなぐ親の会 総会	会長
5月24日	支援調整会議	川崎
5月25日	直鞍エリア社会福祉協議会連絡協議会 担当者会議	入江
6月21日	ながやの会	局長
6月22日	支援調整会議	川崎
6月29日	福岡県共同募金会 評議員会	会長

6月30日	子育て関係団体会議	遠藤
7月5日	直鞍エリア社協理事会	会長・局長 入江
7月7日	民生委員児童委員推薦委員会	会長
7月10日	宮若市献血推進協議会	会長
8月25日	宮若市地域福祉計画	局長
8月27日	山口読書会40周年記念	会長
8月29日	宮若市公共交通会議	会長
9月20日	宮若市交通安全対策協議会	会長
10月1日	赤い羽根共同募金街頭募金	局長・井上 川崎・榎 村山
10月10日	ケース検討会議	遠藤・井上
10月11日	宮若市子ども食堂会議	遠藤
10月19日	直鞍エリア社協事務局長会議	局長
10月19日	宮若市高齢者福祉協議会	局長
10月23日	令和5年福岡県社会福祉大会	会長・局長 西中・藤本
10月26日	支援調整会議	川崎・藤本
10月30日	宮若市高齢者福祉推進協議会	局長
11月1日	宮若市子ども応援会議	遠藤
11月2日	釜山老人福祉協議会 視察受入	局長
11月10日	福岡県社協市町村社協委員会	会長
11月10日	宮若市地域福祉計画策定委員会	局長
11月12日	ボランティアフェスタ	会長
11月14日	㈱福岡ソフトバンクホークスとのミーティング	井上
11月15日	宮若市人権擁護連絡協議会	会長
11月16日	赤い羽根共同募金ポスター表彰式	会長・局長 井上

11月17日	暴力追放！地域安全推進！住民総決起大会	会長・局長
11月20日	宮若市高齢者福祉推進協議会	局長
11月24日	宮若市障がい者計画・障がい福祉計画推進協議会	局長
11月24日	日常生活自立支援事業契約締結審査会	井上・藤本
11月27日	宮若市地域公共交通会議	会長
11月29日	支援調整会議	藤本
12月22日	民生委員・児童委員協議会	局長・遠藤
12月25日	支援調整会議	藤本
1月15日	財政援助団体等監査（1回目）	
1月17日	防災ボランティアウィーク 2023	会長・職員
1月23日	財政援助団体等監査（2回目）	
1月24日	支援調整会議	藤本
1月25日	直鞍エリア社協事務局長会議	局長
1月29日	宮若市公共交通会議	会長
2月27日	支援調整会議	藤本
3月6日	令和5年度 地域福祉推進員会 第2回総会	会長
3月7日	福岡県社会福祉協議会 理事会	会長

#### (5) 研修会等への参加

日時	内 容	出席者
4月11日	トヨタ福岡 新任者研修	入江
5月31日	生活福祉資金 貸付業務担当者研修	川崎・藤本 村山
6月20日	算定基礎事務講習会	藤本
7月5日	宮若市人権講演会	川崎・藤本 入江・村山
11月7日	安全運転管理者講習	局長
11月8日	学童保育所指導員研修会	全指導員

11月21日	更生保護女性会視察研修 同行	川崎
11月22日	宮若市災害ボランティアセンター設置運営訓練	会長・職員
11月27日	福岡県地域福祉活動職員連絡会研修会	藤本・入江
11月30日	青少年健全育成講演会	局長
12月11日	サロンすこやか視察研修 同行	井上・村山
1月22日	令和5年度 市町村社協会長・常務理事・局長研修	局長
1月25日	防火管理者講習	入江
1月26日	防火管理者講習	入江
1月30日	救命講習	全職員対象
2月2日	令和5年度 遺族連合会役員研修会	村山
2月6日	救命講習	全職員対象

#### (6) 寄附金事業

項目	内 容	
香典返し寄附金	60件	1,269,000円
一般寄附金	6件	134,000円

#### (7) その他

7月10日、九州北部に線状降水帯が発生し、福岡県内において多くの被害が発生し、久留米市、うきは市、広川町において災害ボランティアセンターが設置された。

福岡県社協からの要請により、7月15日より8月31日までの間、本会では久留米市災害ボランティアセンターへ職員43名（重複する者あり）27日間職員を派遣し支援を行った。また、久留米市災害支援のためにボランティアバスの運行を7月23日（日）・27日（木）、8月19日（土）・24日（木）の4日間運行し、計65名のボランティアが参加された。

### **3. 地域福祉の推進**

#### **(1) 地域福祉座談会の開催**

- ・ 4月11日、トヨタテック福岡株式会社の新人研修にて「心のバリアフリー」をテーマに講師を務めさせて頂いた。宮若市のまちづくり出前講座に登録を行い、地域福祉活動及び社協の事業内容を説明できる体制を整えている。また、福祉委員・福祉会の設置が出来ていない自治会に出向き、福祉委員及び福祉会の設置を依頼した。

#### **(2) 福祉委員の委嘱**

- ・ 地域福祉の根幹となる見守り活動の強化が求められる宮若市において、自治会長より推薦された方へ社会福祉協議会会長より福祉委員の委嘱状を交付し、見守り体制の強化を図った。

**60 自治会 317 名委嘱**

#### **(3) 福祉会の設置推進**

- ・ 安心して住み続けることの出来る地域を目指し、要援護者台帳・ふれあい台帳・福祉マップ等の作成を自治会へ依頼し、地域福祉推進のために福祉会の設置推進を図った。

**19 自治会で福祉会を設置**

#### **(4) いきいきサロン活動の推進**

- ・ 対象者や年齢の区切りが無く、誰もが気軽に集える居場所づくりとして、自治会主体による「いきいきサロン活動」を推進している。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響により休止していた自治会が多く、5類感染症へ移行後もコロナ前の状況には戻っていない。

**16 自治会へ助成**

#### **(5) 地域福祉研修会の開催**

- ・ 7月4日（火）、福祉委員研修会へ北九州市立大学 名誉教授、西南女学院大学教授 中島俊介氏を講師としてお招きし「輝きの人生～幸せのコミュニケーション～」をテーマに研修会を実施した。9月21日（木）九州大谷短期大学教授 中村秀一氏を講師としてお招きし自治会長・民生委員・福祉委員・社協役員等を対象に「今、なぜ住民主体のまちづくりが必要なのか！」をテーマに講演会を実施した。

#### **(6) 福祉映画上映会の開催**

- ・ 11月23日（木）、宮田文化センターにて在宅介護をテーマとした「ぼけますから、よろしくお願ひします。」を上映し、約250名が参加された。



## (7) 地域歳末・年始事業

- ・ 歳末たすけあい募金を財源として、自治会にて年末・年始に実施されている助け合い活動や地域の絆づくりを目的とした事業に対し、自治会から歳末たすけあい募金に協力いただいた募金額の 80%を助成した。

19 自治会へ助成

## 4. ボランティア活動の推進

### (1) ボランティアセンターの運営

- ・ ボランティアをやりたい方とボランティアをやってもらいたい方を繋ぐボランティアセンターに、ボランティアをやりたい方が 595 名登録された。新型コロナウイルスの影響により、ボランティア活動の受け入れ先がない状況が続いており、ボランティア活動者の募集よりもボランティア活動を希望されている施設等の調査が急務となっている。

### (2) ボランティア講座の開催

- ・ 11 月 30 日（木）、ボランティア活動センターに登録されている会員を対象に、若宮コミュニティーセンターハートフルにて、九州大学人間環境学研究教育部門専任講師/社会福祉士 田北雅裕先生を講師としてお招きし「地域づくりを考える」をテーマに研修会を実施した。

### (3) 災害ボランティア養成講座の開催

- ・ 11 月 22 日（水）、福岡県社会福祉協議会を講師として招き、災害ボランティアセンター設置運営訓練を実施した。民生委員・ボランティア・トヨタ自動車九州㈱等の参加があり、本市にて自然災害が発生し災害ボランティアセンターの設置が必要となった際には速やかに対応・運営が出来るよう、今後も継続して研修会を開催していく。

### (4) 小物製作ボランティアの支援

- ・ 手芸等の特技を活かしたボランティア団体を支援し、作品は社会福祉センター窓口にて販売している。販売した売り上げについては全額赤い羽根共同募金へ寄附頂いている。令和 5 年度は 39,316 円の寄附を頂いた。

### (5) ボランティアスクールの開催

- ・ 夏休み期間中に毎年 5・6 年生を対象としたボランティアスクールを開催している。今年度は 8 月 8 日（火）と 8 月 9 日（水）の 2 日間で計画していたが、台風の接近により 8 月 9 日を 18 日（金）に変更し実施した。1 日目はキッズニア福岡にて職業体験、2 日目は補助犬について学習した。

【参加人数：30 名】

**(6) ボランティア連絡協議会・団体の支援**

日 時	内 容
4月5日	宮若市ボランティア連絡協議会 事務局会
4月18日	令和5年度 宮若市ボランティア連絡協議会総会
4月27日	サロンすこやか役員会
5月16日	宮若市ボランティア連絡協議会 理事会
5月31日	宮若市ボランティア連絡協議会 事務局会
6月13日	宮若市ボランティア連絡協議会 事務局会・理事会
6月29日	宮若市ボランティア連絡協議会 役員研修会
7月18日	宮若市ボランティア連絡協議会 事務局会・理事会
8月22日	宮若市ボランティア連絡協議会 事務局会
8月27日	山口読書会 40周年記念のつどい
9月7日	宮若市ボランティア連絡協議会 事務局会・理事会
10月3日	宮若市ボランティア連絡協議会 事務局会
11月1日	宮若市ボランティア連絡協議会 事務局会・理事会
11月11日	ボランティアフェスタ 2023（準備）
11月12日	ボランティアフェスタ 2023
12月5日	宮若市ボランティア連絡協議会 事務局会
12月11日	サロンすこやか研修会
1月9日	宮若市ボランティア連絡協議会 事務局会・理事会
1月17日	宮若市ボランティア連絡協議会 事務局会
1月17日	防災ボランティアウィーク 2023
2月20日	宮若市ボランティア連絡協議会 事務局会
3月12日	宮若市ボランティア連絡協議会 臨時事務局会
3月26日	宮若市ボランティア連絡協議会 事務局会・理事会

### (7) ボランティア活動の啓発

- ・ 新型コロナウイルス感染症 5 類移行後もボランティア活動にも支障が続いた。活動内容等については周知できなかったが、会員募集については、ホームページや広報誌を活用し募集し、数名の新たなボランティアが加入する団体もあった。

### (8) ボランティア活動保険への加入推進

- ・ 安心してボランティア活動を行って頂くために、ボランティア活動保険への加入推進を図り、1,091 名が加入された。

## 5. 相談機能の充実

### (1) 弁護士無料法律相談の実施

- ・ 偶数月第 2 火曜日の午後 1 時より 4 時までの間、事前予約により一人 30 分程度の相談を福岡県弁護士会筑豊部会に依頼し、弁護士による無料法律相談を実施した。

月	件数	月	件数	月	件数
4月	2件	6月	2件	8月	5件
10月	0件	12月	2件	2月	1件

### (2) ひきこもり支援事業

- ・ 偶数月第 4 火曜日の午後 1 時より 4 時までの間、一般社団法人ひきこもり支援相談士認定協会へ依頼し、ひきこもり相談士を派遣して頂き相談事業を実施した。また、奇数月については相談士独自による相談会場として社会福祉センターの一室を提供し、毎月相談を受ける事ができる体制を整えている。

月	件数	月	件数	月	件数
4月	2件	6月	2件	8月	0件
10月	0件	12月	0件	2月	0件

### (3) フードバンクの運営

- ・ 新型コロナウイルスによる影響を受けたまま以前の生活に戻れておらず、収入の減少や失業等が宮若市内でも発生しており多くの方が相談に来られ、相談者へ食材等の提供を行った。毎月第 4 金曜日には NPO 法人フードバンク福岡から継続的な食料提供を受けている。また、トヨタ自動車九州(株)からも毎月「フードドライブ活動」を通じて多くの食材の提供を受けており、JA 直鞍女性部、豊田合成九州(株)及びトヨタテック福岡(株)からも食材を提供して頂いている。

116 件に提供

#### (4) 緊急援護資金の貸与

- 生活相談等で来所され、生活福祉資金の貸付の必要があると判断した場合、住民票や所得課税証明書等の書類が必要となるが、取得費用が無い方や貸付決定までの間にライフラインが止まってしまう方に対し、1万円を限度として最低限必要な金額を貸与した。

26 件に貸与

#### (5) 関係機関との連携

- 生活福祉資金特例貸付の延長により宮若市の困りごと相談室と随時連携を図り相談者の支援にあたった。また、日常生活自立支援事業については、福岡県社協・宮若市・直鞍地区障がい者基幹相談支援センター・その他福祉施設等々と連携し事業運営に努めた。

## 6. 高齢者の支援

#### (1) 寝具洗濯サービスの実施

- 65歳以上の介護認定を受けている方等を対象に、5月より民生委員及び在宅介護支援センターの協力を得て寝具洗濯サービスを実施した。新型コロナウイルスの影響により自宅訪問が厳しい状況の場合には民生委員等の代筆により申請可能としている。申請者へ決定通知書を送付する際には、受け取り日時も記載し、随時委託業者が自宅へ訪問回収し洗濯後には自宅へ届けており、8月31日には全ての業務が完了した。

111名 202枚の洗濯

#### (2) ふれあい電話の実施

- 5名のボランティアにより毎週水・金曜日の週2回、一人暮らし及び昼間独居で70歳以上の高齢者の自宅に電話による声掛けを行った。また、誕生日にはバースデーカードを送付し、ボランティアの顔写真入りの年賀状も送り交流を深めた。民生委員及び社協広報誌にて利用者の募集を行っているが利用者の増加には繋がっていない状況である。

16名が利用中

#### (3) 在宅介護者の支援

- 11月23日(木)、在宅介護をテーマとした福祉映画「ぼけますから、よろしくお願いします。」を上映し、250名程度の参加があった。

## 7. 障がいを抱える方への支援

### (1) 障がい者サロンの開催

- 毎月第2木曜日 午前10時より午後3時までの間、社会福祉センター2階にて障がい者サロンを実施した。

日 時	内 容
4月13日	はぎれ布小物制作
5月9日	作品作り、音楽会
6月8日	作品作り、音楽会
7月13日	中止
8月10日	作品作り、誕生会
9月14日	脳トレ、作品作り、
10月12日	宗像大社、むなかた道の駅おでかけ
11月9日	干支の置物制作、音楽会
12月14日	干支の置物制作、音楽会
1月11日	正月遊び
2月8日	脳トレ、小物制作
3月14日	脳トレ、音楽会

計 11 回実施、延 67 名の参加

### (2) 手話サロンの開催

- 宮若手話の会に依頼し、毎月第2・第4火曜日の午前中に社会福祉センター2階にて、聴覚障害を持たれる方の交流と社会参加を推進し、手話が分からない方にも気軽に簡単な会話程度の手話を学ぶことを目的として手話サロンを開催した。

計 15 回実施、延 122 名の参加

### (3) 障がい者団体の支援

- 宮若市社会福祉センターの売店業務を、宮若市障がい者団体連絡協議会へ委託し、雇用創出の場や社会参加の機会増進を図った。

日 時	内 容
5月9日	宮若市障がい者連絡協議会 役員会
5月13日	わらびの会 総会
5月20日	手をつなぐ親の会 総会
5月19日	宮若市障がい者連絡協議会チャリティーバザー
12月15日	宮若市障がい者連絡協議会チャリティーバザー

## 8. 子育ての支援

### (1) 子育て交流会の開催

日時	内容	参加者
6月3日	えいごであそぼう (ラボつのパーティー津野麻紀氏を講師として招きえいごであそぼうを実施した。また、フォトスポットを作り可愛い写真撮影ができる場所を作った。)	16名
7月29日	宝石石鹸づくり (久保峰子氏を講師として招き、石鹸を溶かしてから着色し形を整えた後に綺麗に磨いく宝石石鹸を作った。)	22名
10月15日	えいごであそぼう (参加者に大人気なラボつのパーティー津野麻紀氏を講師として招きえいごであそぼう「ハロウィンパーティー」を実施した。)	23名
12月9日	クリスマスリースづくり (Rose beret 久保峰子氏を講師として招き、クリスマス用のリースを作成した。)	26名

### (2) 子育て用品リユース事業

- 子育て用品のリサイクルを進めるために、不要となった子育て用品を持ち込んでもらい、必要な方が無料で持ち帰ることの出来る「子育てリユースセンター」を宮若市社会福祉センター2階の一室で実施した。利用者から持ち込まれる衣類や子育て用品については、宮若市子育て連絡会「きらりん」に協力を頂き整理整頓を行った。

682名が利用された

### (3) 子育て団体の支援

- 子ども食堂や育ちと学びの応援団（不登校の子どもが安心して過ごせる居場所づくり・放課後学習支援事業を実施している団体）及びスクールソーシャルワーカー、宮若市困りごと相談室、主任児童委員にて、日々子育て関係について相談を受ける中での課題等について協議した。

日時	内容
5月11日	令和4年度 宮若市子育て連絡会きらりん総会（書面総会）

## 9. 福祉教育の推進

### (1) 福祉入門教室・福祉の出前講座

- 福祉人材バンクからの助成金を一部財源として、小学校で行われている福祉教育の充実を図る為、ライジングゼファー福岡の車いすバスケット選手の福澤 翔選手を講師として招待し福祉教育を行った。

日時	学校名	内容
10月24日	宮田北小学校	4年生1クラスを対象に車いすバスケットボール授業を実施（AM）
11月1日	光陵小学校	4年生2クラスを対象に車いすバスケットボール事業を実施（AM）
11月6日	宮若西小学校	4年生3クラスを対象に車いすバスケットボール事業を実施（終日）
11月7日	宮田南小学校	4年生2クラスを対象に車いすバスケットボール事業を実施（AM）

### (2) 車いすバスケットボールイベントへの参加

- ライジングゼファー福岡主催による Wheelchair フェスに、車いすバスケットボールの試合観戦と選手が使用している競技用車いす体験に参加する予定だったがイベントが開催されなかった。

### (3) 福祉教育の支援

- 小学校からの依頼により、総合学習の時間に車いす体験を含めた福祉教育を実施した。

日時	学校名	内容
9月1日	宮若西小学校	4年生3クラスを対象に車いす授業を実施
9月6日	宮田南小学校	4年生2クラスを対象に車いす授業を実施
10月4日	宮田北小学校	4年生1クラスを対象に車いす授業を実施
11月6日	光陵小学校	4年生2クラスを対象に車いす授業を実施

### (4) 社会福祉協力校の指定

- 小学校、中学校及び高等学校の児童・生徒に、福祉への理解と関心を高め、思いやりの心でお互いに助け合い人権を尊重し合う福祉の心を養う為の授業や事業に対し、4小学校・2中学校・1高等学校へ助成金を交付した。

## (5) ともに生きるの配布

- 福岡県社会福祉協議会からの配布依頼により、小学校3年・4年・5年・6年生を対象とした福祉教育教材を市内全小学校の4年生へ256冊配布した。

## (6) 福祉教材寄贈

- 小学校新入学1年生の児童を対象に、歳末助けあい募金を財源とし防犯ブザーを230個寄贈した。また、宮若市内4小学校の特別支援学級12クラスへ赤い羽根共同募金を財源とし、教育支援教材費購入支援費として助成金を交付した。

# 10. 貸出事業

## (1) チャイルドシートの貸出

- 乳幼児の安全と子育て世帯の負担軽減を図るため、チャイルドシート及びジュニアシートの貸出を行った。令和3年度より父母及び祖父母等においても、貸出期間を3カ月とし更新時に1,000円の利用負担が生じるが何度でも更新可能としており、現在チャイルドシート34台、ジュニアシート19台を所有している。

4月	8件	8月	10件	12月	16件
5月	6件	9月	11件	1月	10件
6月	10件	10月	7件	2月	8件
7月	11件	11月	12件	3月	5件

114回貸出

## (2) 福祉車両の貸出

- 本会で所有している、N-BOX（車いす1台）・ノア（車いす2台）・キャラバン（車いす4台）の3台を福祉車両として貸出した。以前までは燃料費のみ負担をいただき貸出を実施していたが、貸出件数の増加により車両の維持費が必要となった為、令和6年よりガソリン代負担と一回の貸出に500円の車輛維持費の負担をお願いし実施した。

4月	5件	8月	9件	12月	5件
5月	4件	9月	5件	1月	9件
6月	2件	10月	11件	2月	5件
7月	14件	11月	12件	3月	11件

92件貸出



### (3) 車いすの貸出

- ・ 一時的に車いすが必要な方へ貸出を行った。また、介護保険認定者など他の制度が利用できる方へはアドバイスをを行った。現在貸出可能な車いすを 24 台所有している。

4月	5件	8月	9件	12月	5件
5月	4件	9月	5件	1月	3件
6月	2件	10月	8件	2月	9件
7月	3件	11月	6件	3月	6件

65件貸出

### (4) レクリエーション遊具の貸出

- ・ 地域で開催されているイベントや、幼稚園・保育園等にレクリエーション遊具の貸出を行った。

14件貸出

## 11. 広報啓発活動

### (1) 広報誌の発行

- ・ 市民の声や福祉情報、行事等のお知らせなど福祉の情報紙として「ほっと」を年6回発行し細かな情報を掲載できるよう努めた。

### (2) ホームページ・フェイスブック・インスタグラムの更新

- ・ 行事のお知らせや事業報告などを適時掲載し、情報提供と啓発媒体としてこまめな更新を行った。

## 12. 指定管理者制度による福祉センターの運営

### (1) 宮若市社会福祉センターの運営

- ・ 宮若市からの指定管理を受け、センターの目的に沿った運営・管理に努めた。新型コロナウイルスの行動制限が緩和されコロナ禍に比べると入館者数は徐々に増加してきている。高齢者の入館者が多いため入浴中の事故が何件か発生しているため救命講習を実施し、不測の事態にも対応できるような体制にしている。

4月	5,036人	8月	3,549人	12月	5,193人
5月	4,962人	9月	3,929人	1月	5,583人
6月	4,485人	10月	4,549人	2月	5,906人
7月	4,031人	11月	5,048人	3月	6,040人

入館者数 58,311名

月	工事・点検等	月	工事・点検等
4 月	—	10 月	水栓取替工事 棚固定工事
5 月	パーテーション取付工事	11 月	外灯取付工事 駐輪場撤去工事
6 月	—	12 月	汚水管洗浄工事 エレベーター修繕工事 追突防止ポール取付工事 倉庫 2 棟解体工事 駐車場整備工事 駐輪場・カーポート工事
7 月	照明取付工事 シャワー修繕工事	1 月	駐輪場看板取付工事 水栓取替工事 トイレタンク修繕工事 ポンプ分解整備 バルブ取替 裏渡廊下屋根壁改修工事
8 月	ブラインド取替工事 ワイヤーガラス入替工事	2 月	倉庫収納棚取付工事 緊急用インターホン取付工事
9 月	—	3 月	—

## (2) 宮若市巡回ふくしバスの運行

- 毎週月・水・金曜日に市内を巡回する宮若市巡回ふくしバスの運行を行った。

4月	849人	8月	727人	12月	798人
5月	898人	9月	817人	1月	728人
6月	870人	10月	859人	2月	742人
7月	755人	11月	835人	3月	837人

利用者数 9,715 名

## 13. 受託事業等

### (1) 放課後児童健全育成事業の受託（宮若市より）

- 市内 4 か所 10 クラスで全学年を対象として学童保育所の運営を実施した。令和 5 年度は特にインフルエンザの流行により、マスク着用・手洗いの徹底やうがいなど感染症対策に努めた。

	南学童 1	南学童 2	北学童 1	北学童 2	光陵学童 1
4 月	39 人	29 人	28 人	28 人	35 人
5 月	38 人	28 人	27 人	28 人	35 人
6 月	38 人	27 人	27 人	28 人	34 人
7 月	42 人	33 人	31 人	33 人	35 人
8 月	42 人	32 人	30 人	32 人	33 人
9 月	37 人	26 人	24 人	25 人	33 人
10 月	37 人	25 人	22 人	25 人	32 人
11 月	36 人	25 人	22 人	25 人	31 人
12 月	36 人	25 人	22 人	25 人	31 人
1 月	36 人	24 人	22 人	23 人	31 人
2 月	36 人	24 人	22 人	23 人	31 人
3 月	37 人	25 人	22 人	21 人	31 人
合 計	454 人	323 人	299 人	316 人	392 人

	光陵学童 2	光陵学童 3	西学童 1	西学童 2	西学童 3
4 月	35 人	19 人	34 人	33 人	35 人
5 月	35 人	19 人	36 人	32 人	34 人
6 月	34 人	16 人	36 人	32 人	31 人
7 月	34 人	16 人	40 人	39 人	40 人
8 月	35 人	17 人	39 人	39 人	38 人
9 月	32 人	17 人	31 人	29 人	29 人
10 月	32 人	17 人	31 人	30 人	29 人
11 月	32 人	17 人	31 人	29 人	29 人
12 月	30 人	17 人	31 人	30 人	29 人
1 月	33 人	18 人	30 人	30 人	29 人
2 月	31 人	18 人	30 人	30 人	29 人
3 月	30 人	18 人	30 人	30 人	29 人
合 計	393 人	209 人	399 人	382 人	381

年間 3,548 人

## (2) 高齢者居場所づくり事業の受託（宮若市より）

- 5 月より新型コロナウイルス感染症が 5 類に分類され、通常通りの事業を実施することが出来た。しかし、コロナ禍前の利用者数に回復することは難しく、様々な場面にて高齢者居場所づくり事業の宣伝周知を図ってきたが、令和 5 年度についても厳しい運営状況となった。

136 回実施 2,547 名の利用

**(3) 宮若市戦没者遺族会事務局の受託（宮若市より）**

日 時	内 容
5月4日	福岡県護国神社春季慰霊大祭
5月24日	第1回 理事会
5月30日	決算監査・役員会
6月27日	令和5年度 総会
6月29日	第47回英霊にこたえる会福岡県本部総会
7月13日	宮若市戦没者遺族会交流会
8月15日	福岡県戦没者追悼式
10月19日	郡市区代表者会議
11月16日	福岡県護国神社参拝
11月20日	第70回記念 福岡県戦没者遺族大会
1月26日	役員会
2月2日	遺族会役員研修会
3月29日	第2回 理事会

**(4) 日常生活自立支援事業の受託（福岡県社会福祉協議会より）**

- ・ 認知症、知的障害、精神障害などにより判断能力が不十分なため、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理などに不安がある方が、住み慣れた地域で安心して生活ができるように支援した。新規の問い合わせも病院や施設等から複数あっているが、非該当事案や本人が納得しないなどで新規契約には至っていない方も多い。今後も利用者の増加が見込まれる為、市民支援員さんに協力いただき事業運営を図っていききたい。

**延 169 回の支援**

**(5) 生活福祉資金貸付事業の受託（福岡県社会福祉協議会より）**

- ・ 福岡県社会福祉協議会より業務委託を受け生活福祉資金貸付事業を行った。新型コロナウイルスの影響により特例貸付を受けた世帯へは、償還免除の方法が分からない方が多かった為、償還免除の方法や金銭的問題以外についても支援を行った

種 別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
総合支援資金							1
緊急小口資金(通常)			2			1	3
教育支援資金							
福祉費		1			1		2
小 計		1	2		1	1	5

種 別	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合 計
総合支援資金						1
緊急小口資金(通常)	1		1	2	2	12
教育支援資金	1	1	1	1		4
福祉費						4
小 計	2	1	2	3	2	20

#### (6) 共同募金会宮若市支会事務局の受託（福岡県共同募金会より）

- 福岡県共同募金会宮若市支会の事務局を受託し、10月1日から12月31日までの間、赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金の強調月間とし、戸別募金・法人募金・学校募金・募金箱・イベント募金等々の方法で募金活動を実施した。赤い羽根共同募金の啓発ポスターを市内中学校の美術部に制作を依頼した。優秀作品として宮若西中学校の牧稚菜さんの作品を令和5年度のポスターとして使用させて頂いた。10月1日には、トライアル宮田店、ルミエール宮田店、四季彩館、ドリームホープ若宮、トライアルG0 脇田店にて街頭募金を実施した。また、12月21日・22日に宮田仏教会の方々による街頭募金を実施され、歳末たすけあい募金に全額寄附頂いた。

- 共同募金額 5,370,929 円
- 歳末たすけあい募金 757,747 円

#### (7) メセナシート配布事業（ソフトバンクホークス(株)より）

- ソフトバンクホークス(株)からの依頼により、宮若市内の福祉施設・福祉団体・中学校野球部・スポーツ団体・学童保育所等へホークスの試合観戦希望を実施し、希望される施設等へチケットを配布した。